

## VISTA 9 ユーザーレポート

RKB 毎日放送株式会社 様

VISTA 9 - 42



### T2スタジオサブをVISTA 9で更新



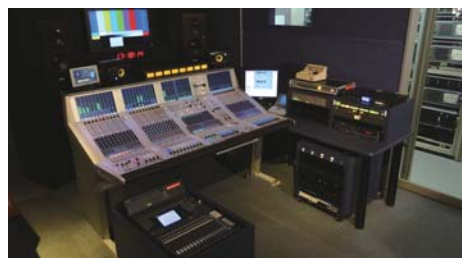
RKB毎日放送株式会社  
技術局 制作技術部  
川添 明彦

#### 音声卓更新の背景

1996年の社屋移転に伴い設備したT2サブ(番組制作サブ)の音声卓は約15年が経過し、恒久的なメーカーの保守対応が難しくなったこと、また同サブの映像システムが既にデジタル放送対応となっており、その設備に対応させるため更新することになりました。

#### 音声卓選定にあたって

今回更新を行ったT2サブでは、ほぼ毎日4時間に及ぶ生放送を行っており、リハーサル時間や他の収録番組も含めると平均して毎日6時間以上、音声卓を稼動しています。



導入する卓の条件として、長期的に安定して運用できることは当然ですが、長時間のオペレーションをストレス無く運用できるよう意見を広く吸い上げ、ポイントとしてまとめた上で卓の選定を行いました。

卓選定のポイントは、

- ① 十分な安定性を持っていること
- ② 弊社の番組を行うのに十分な機能を持っていること
- ③ 各種変更に対して柔軟に対応できること
- ④ 操作性に優れていること
- ⑤ 操作面の視認性が優れていること

というもので、機器の安定性・機能性に関しては絶対条件だと思いましたが、柔軟性や操作性、視認性の部分でもVISTA 9は弊社のニーズにマッチしており、導入決定の決め手となりました。

具体的に挙げますと、柔軟性に関してはフェーダーの並びをドラッグ&ドロップで容易に変更でき、何かと変更の多い情報番組において迅速な対応が可能です。操作性に関しては、通常の音声ミックスにおいて頻繁に調節するイコライザーやマイクゲイン等のパラメーター変更を、フェーダー単位で、しかもワンアクションで手元で展開できることが最大の魅力でした。視認性に関しては前述の操作性とも重複しますが、ワンタッチで視覚的に調整したい項目が展開しますので、

違うフェーダーのパラメーターを調節するというミスが劇的に軽減します。また、VISTA 9ではフェーダー単位で自由に色表示を変更できるため、視認性が格段に向上し、人為的なミスが軽減しました。生放送運用の比率が高い弊社T2サブにおいて、音声のミスによる放送事故を未然に防げるという点で非常に満足しています。

#### 半年の運用を経て

導入後半年が経過しましたが、これまで特にトラブルなく運用できています。またオペレーションをする中で、更なる意見の吸い上げを行い、いくつかの仕様変更にも快く対応していただきました。この場をお借りし、システム設計・工事をしていただきましたテクト様、日東紡音響エンジニアリング様、スチューダー・ジャパン・ブロードキャスト様に厚く御礼申し上げます。今後とも長きに渡ってお付き合いいただきたいと思います。

